

チャレンジシート① 学ぶ

単元名	年 組 番	学習日
～人類の始まりと文明～	氏名	

あてはまる語句や言葉を下の語群から選んで答えてみよう。

《人類の誕生》

- 1 (猿人)・・・アフリカに出現。二本足で立って歩いた最も古い人類のこと。
- 2 (原人)・・・火や言葉を使うようになった人類のこと。
- 3 (打製石器)・・・石を打ち割ってつくられた石器のこと。
- 4 (新人)・・・人類の直接の祖先にあたり、世界中へ広がった人類のこと。
- 5 (旧石器時代)・・・動物を狩り、木の実や根などを採集して暮らしていた時代のこと。
- 6 (牧畜)・・・ヤギやヒツジを飼いならすこと。
- 7 (農耕)・・・定住生活をおこないながら、ムギやマメなどを栽培すること。
- 8 (磨製石器)・・・石の表面を磨いて形を整えた石器のこと。
- 9 (新石器時代)・・・農耕と牧畜が始まり、磨製石器が使われるようになった時代のこと。
- 10 (原始時代)・・・旧石器時代と新石器時代を合わせた時代のこと。

《世界の古代文明》

- 11 (メソポタミア文明)・・・チグリス川とユーフラテス川にはさまれた地域に栄えた古代文明。
- 12 (エジプト文明)・・・紀元前3000年ごろ、ナイル川流域に栄えた古代文明。
- 13 (インダス文明)・・・モヘンジョ＝ダロの世界遺産に代表されるインドの古代文明。
- 14 (中国文明)・・・黄河・長江流域で栄えた古代文明。
- 15 (甲骨文字)・・・亀の甲や牛の骨にほられた文字で、漢字のもとになった文字。
- 16 (秦)・・・紀元前221年に初めて中国を統一した国。
- 17 (始皇帝)・・・万里の長城を築いた皇帝。
- 18 (シルクロード)・・・中国とローマ帝国を結んだ交易路のこと。
- 19 (仏教)・・・インドのシャカが広めた宗教のこと。
- 20 (キリスト教)・・・イエスが広めた宗教のこと。
- 21 (イスラム教)・・・アラビア半島のマホメットが説いた教えを広めた宗教のこと。

語群

イスラム教 打製石器 原始時代 インダス文明 秦 シルクロード
 旧石器時代 猿人 エジプト文明 甲骨文字 新石器時代 新人 牧畜
 原人 仏教 メソポタミア文明 磨製石器 キリスト教 農耕 始皇帝
 中国文明

チャレンジシート① 学ぶ

単元名	年 組 番	学習日
～日本の原始時代～	氏名	

あてはまる語句や言葉を下の語群から選んで答えてみよう。

《日本人のルーツと縄文時代》

- 1 (貝塚)・・・食べ残した貝殻や、魚や獣の骨などが積もったあとのこと。
- 2 (竪穴住居)・・・地面を掘り下げて床にして、屋根をかけた住居のこと。
- 3 (土 偶)・・・豊かな恵みを願い作られた、女性の姿を模した人形のこと。
- 4 (縄文土器)・・・縄を転がした文様を特色とした土器のこと。
- 5 (縄文時代)・・・紀元前500年ごろまでの約1万3000年続いた時代のこと。

《稲作の広まりと弥生時代》

- 6 (弥生時代)・・・本格的な農業が始まった時代のこと。
- 7 (弥生土器)・・・弥生時代に使用された、飾りの少ない土器のこと。
- 8 (邪馬台国)・・・女王卑弥呼が治めていた国のこと。
- 9 (魏)・・・女王卑弥呼が使いを送った国の国名。
- 10 (金印)・・・漢委奴国王と言う文字がほられた印のこと。

《大和王権と渡来人》

- 11 (前方後円墳)・・・強大な権力を持つ王が存在していたことを示す奈良県にある古墳のこと。
- 12 (大王)・・・ヤマト王権の支配者の呼び方のこと。
- 13 (渡来人)・・・朝鮮半島の人々が一族でまとまって日本に移り住んだ人のこと。

《東アジアの統一国家》

- 14 (律令)・・・唐が作った、国内をおさめるためにつくられた法律のこと。
- 15 (聖徳太子)・・・おばの推古天皇を助けて、蘇我馬子とともに政権を握った人物のこと。
- 16 (冠位十二階)・・・世襲ではなく、個人の才能によって役人を採用することとしたこと。
- 17 (十七条の憲法)・・・役人の心構えを示した法のこと。
- 18 (遣隋使)・・・中国・隋に小野妹子を派遣し、隋の制度や仏教を学ばせた使いのこと。
- 19 (飛鳥時代)・・・聖徳太子が行った政治の時代の名前のこと。

《律令国家をめざして》

- 20 (中大兄皇子) (中臣鎌足)・・・645年蘇我氏をたおし、政権を握った二人の人物のこと。
- 21 (大化の改新)・・・全国の土地と人民を国のものとする公地公民など、天皇が支配する方針を打ち出した政治改革のこと。
- 22 (大宝律令)・・・701年、持統天皇が、中国・唐の律令をもとに作ったもの。
- 23 (律令国家)・・・律令に基づいて政治が行われる国家のこと。

語群

律令国家	前方後円墳	魏	貝塚	土偶	大化の改新	弥生土器
縄文土器	十七条の憲法	飛鳥時代	律令	渡来人	大王	金印
弥生時代	竪穴住居	聖徳太子	遣隋使	中大兄皇子	大宝律令	
冠位十二階	邪馬台国	縄文時代	中臣鎌足			

チャレンジシート① 学ぶ

单元名	年 組 番	学習日
～古代国家の展開～	氏名	

あてはまる語句や言葉を下の語群から選んで答えてみよう。

《奈良の都と律令制下のくらし》

- 1 (平城京)・・・710年、都を藤原京から奈良に移した都の名前。
- 2 (大宰府)・・・九州諸国をまとめ、唐や新羅との外交にあたった役所のこと。
- 3 (朝廷)・・・天皇を頂点に、皇族・貴族や役人が全国をおさめる統一国家の政府のこと
- 4 (口分田)・・・6歳以上の男女に割り当てられた農地のこと。
- 5 (班田収授)・・・口分田を死ねば朝廷に返させるしくみのこと。
- 6 (租庸調)・・・奈良時代に人々に課された三種類の税。
- 7 (墾田永年私財法)・・・743年、農地を私有地として認める法律のこと。
- 8 (荘園)・・・貴族・寺社などの広い私有の農地のこと。
- 9 (富本銭) (和同開珎)・・・奈良時代に使われたと言われる貨幣のこと。

《国際色豊かな文化》

- 10 (法隆寺)・・・現存する日本最古の木造建築の寺院のこと。
- 11 (飛鳥文化)・・・飛鳥時代、仏教を中心とする文化のこと。
- 12 (天平文化)・・・奈良時代に栄えたころの文化のこと。
- 13 (鑑真)・・・唐の僧で、日本にわたろうと何度も遭難し、ついには失明しながらも来日し、日本の寺院や僧の制度を整えた人物のこと。
- 14 (万葉集)・・・天皇から庶民までの広い範囲の人々の歌った和歌を集めた和歌集のこと
- 15 (古事記) (日本書紀)・・・国のおこりや古代の国の中心となる天皇の由来などを書いた書物のこと。
- 16 (風土記)・・・全国の国ごとに、自然・産物・地理・伝説などをまとめた書物のこと

《京都の都と摂関政治》

- 17 (摂関政治)・・・藤原氏が行った、天皇が小さいときは摂政、成長すると関白という職について天皇の政治を助けたしくみのこと。
- 18 (平安時代)・・・794年、都を京都の平安京に移し政治をおこなった時代のこと。

《文化の日本化》

- 19 (天台宗)・・・最澄が比叡山延暦寺をたてて広めた仏教のこと。
- 20 (真言宗)・・・空海が高野山金剛峯寺をたてて広めた仏教のこと。
- 21 (国風文化)・・・漢字を簡単にしたかな文字など、日本の風土や暮らしにあった洗練された文化のこと。

語群

摂関政治	班田収授	平城京	法隆寺	国風文化	鑑真	朝廷	天台宗
口分田	真言宗	風土記	平安時代	大宰府	荘園	富本銭	租庸調
天平文化	古事記	万葉集	墾田永年私財法	日本書紀	和同開珎		
飛鳥文化							

チャレンジシート① 学ぶ

単元名	年 組 番	学習日
～鎌倉幕府の成立～	氏名	

あてはまる語句や言葉を下の語群から選んで答えてみよう。

《院と平氏の政治》

- 1 (院政)・・・白河天皇が行った、位を幼い皇子にゆづったのち、自らは上皇となって政治を行ったこと。
- 2 (平清盛)・・・保元の乱・平治の乱の戦いで、源氏を破ったのち太政大臣と成った人物のこと。

《武家政治の始まり》

- 3 (鎌倉幕府)・・・1192年、源頼朝が征夷大將軍に任じられ、鎌倉に武士の政治が生まれた幕府のこと。
- 4 (御恩)・・・將軍は、御家人の領地を公認・保護し、御家人を守護や地頭に任命すること。
- 5 (奉公)・・・御家人は、京都や鎌倉の護衛にあたり、戦いの時は、命がけで合戦に参加すること。
- 6 (執権政治)・・・源頼朝の死後、実権をにぎった北条氏は執権という地位について政治をおこなったこと。
- 7 (御成敗式目)・・・1232年、執権北条泰時が定めた、御家人の権利・義務や裁判などについての武家社会のならわしをまとめたもの。

《鎌倉時代の人々の暮らし》

- 8 (二毛作)・・・米を作ったあとの裏作として、麦を作る農業方法のこと。
- 9 (商品作物)・・・原料や商品として売る作物のこと。
- 10 (公家)・・・朝廷や貴族のこと。
- 11 (武家)・・・將軍や上級武士のこと。

語群

院政	二毛作	武家	御成敗式目	御恩	平清盛	鎌倉幕府	奉公
執権政治	公家	商品作物					

チャレンジシート① 学ぶ

单元名	年 組 番	学習日
～元の襲来と鎌倉幕府の おとろえ～	氏名	

あてはまる語句や言葉を下の語群から選んで答えてみよう。

《元の襲来と鎌倉幕府》

- 1 (フビライ=ハン)・・・モンゴル帝国の皇帝。日本に使者を送り、武力を背景に国交を迫った人物。
- 2 (文永の役)・・・1274年 元軍の襲来。幕府軍は福岡市の大宰府まで退却したが、元軍は夜になって引き上げた戦いのこと。
- 3 (弘安の役)・・・1281年、元軍は再び、九州北部に攻め込んできた。しかし、暴風雨に襲われ、大きな被害をうけて退いた。
- 4 (元寇)・・・文永の役、弘安の役の二度の元軍による襲来のこと。
- 5 (徳政令)・・・元軍との戦いの後、十分な恩賞を与えられなかった御家人は、幕府に不満を持つようになった。また、高利貸しからの借金を返せず、領地を失う御家人を救うために幕府が出した法令のこと。

語群

フビライ=ハン 元寇 徳政令 弘安の役 文永の役

チャレンジシート① 学ぶ

単元名	年 組 番	学習日
～室町幕府と下剋上～	氏名	

あてはまる語句や言葉を下の語群から選んで答えてみよう。

《南北朝の内乱と室町幕府》

- 1 (建武の新政)・・・1333年、後醍醐天皇が、元号を建武と改め、天皇中心の政治をおこなうこと。
- 2 (南北朝時代)・・・北朝(京都)と南朝(奈良)とに分かれて内乱が起きた時代のこと。
- 3 (守護大名)・・・一国を支配する領主として成長した守護のこと。
- 4 (室町時代)・・・足利氏が中心となって240年間続いた時代のこと。

《東アジアとの交流》

- 5 (倭寇)・・・南北朝時代の日本では、九州の武士や商人が海賊となって大陸沿岸をおそったときの呼称。
- 6 (勘合貿易)・・・倭寇と区別して貿易を行うため、勘合という割札を持たせたことからこの名前で呼ばれるようになった。
- 7 (朝鮮)・・・14世紀末の朝鮮半島の国号。
- 8 (琉球王国)・・・15世紀はじめ、沖縄を統一した尚氏が建てた王国のこと。

《産業の発展と都市と村》

- 9 (座)・・・商人や手工業者が同業者の組合をつくった。
- 10 (土倉)・・・保管のための土蔵を建てていたことから付けられた高利貸し業者のこと。
- 11 (問もしくは問丸)・・・港に作られた運送業者のこと。
- 12 (惣)・・・村で寄り合いを開き、村のおきてを定めるなどの自治組織の呼び名。

《立ち上がる民衆と戦国大名》

- 13 (土一揆)・・・幕府に徳政令を出すよう要求し、酒屋や土倉におしかけた一揆のこと。
- 14 (山城の国一揆)・・・京都では、守護大名を追い出し、8年間自治を行った一揆のこと。
- 15 (一向一揆)・・・地侍と農民が一向宗の信仰で結びついて起こした一揆のこと。
- 16 (戦国大名)・・・守護大名の地位を實力でうばって領国をおさめようとする大名のこと。
- 17 (分国法)・・・領国支配のため、領国ごとにつくられた法のこと。

語群

土一揆 惣 倭寇 南北朝時代 勘合貿易 山城国一揆 戦国大名
 朝鮮 建武の新政 座 問または問丸 分国法 守護大名 土倉
 一向一揆 琉球王国 室町時代

チャレンジシート① 学ぶ

単元名	年 組 番	学習日
～中世の文化～	氏名	

あてはまる語句や言葉を下の語群から選んで答えてみよう。

《鎌倉・室町の文化》

【 鎌倉仏教と鎌倉文化 】

- 1 (法然)・・・浄土宗を開いた人物。
- 2 (親鸞)・・・浄土真宗を開いた人物。
- 3 (日蓮)・・・日蓮宗を開いた人物。
- 4 (平家物語)・・・軍記物。琵琶法師によって、武士や民衆にも広まった。
- 5 (方丈記)・・・随筆。 作者・鴨長明。
- 6 (徒然草)・・・随筆。 作者・吉田兼好。

【 室町文化 】

- 7 (書院造)・・・中国から輸入した掛け軸や陶磁器などをかざる床の間をもつ家の造りのこと。
- 8 (能楽)・・・観阿弥・世阿弥によって大成された文化。

語群

徒然草 書院造 日蓮 法然 平家物語 方丈記 能楽 親鸞

チャレンジシート① 学ぶ

単元名	年 組 番	学習日
～中世から近世～	氏名	

あてはまる語句や言葉を下の語群から選んで答えてみよう。

《キリスト教の世界とイスラム教の世界》

- 1 (宗教改革)・・・16世紀、免罪符を売り出したローマ教皇の方針に反対するキリスト教が立ち上がった改革のこと。
- 2 (イエズス会)・・・キリスト教の勢力回復のため、アジアなどにキリスト教を伝える組織。
- 3 (ルネサンス)・・・キリスト教のしきたりにとらわれない自由でいきいきとした文化への関心の高まり。

《つながれてゆく世界》

- 4 (バスコ＝ダ＝ガマ)・・・15世紀末、アフリカの最南端喜望峰をまわって、直接インドに行く航路を開いた人物。
- 5 (コロンブス)・・・アメリカ大陸付近の西インド諸島に到達し、のちに新大陸の発見となった人物。
- 6 (マゼラン)・・・世界一周を目指し、フィリピンで亡くなった後、部下たちに手によって成功し、地球が丸いことを証明した人物。

《ヨーロッパ人の来航と信長》

- 7 (鉄砲)・・・1543年ポルトガル人を乗せた船が鹿児島島の種子島に漂着し、このときに伝えられたもの。
- 8 (フランシスコ＝ザビエル)・・・1549年、イエズス会の宣教師が鹿児島に来て、キリスト教を伝えた。この宣教師のこと。
- 9 (織田信長)・・・1573年、室町幕府の將軍足利義昭を京都から追い出し、室町幕府を滅ぼした人物のこと。
- 10 (樂市・樂座令)・・・織田信長は、安土城の城下ではだれでも自由に商工業ができるように出した法令のこと。

《天下統一と近世の社会の基礎づくり》

- 11 (豊臣秀吉)・・・1590年 織田信長の家臣で、明智光秀を倒し、全国を統一した人物のこと。
- 12 (安土桃山時代)・・・織田信長が安土に、豊臣秀吉が京都の伏見に城を築いた時代のこと。
- 13 (太閤検地)・・・豊臣秀吉は、検地帳を作り、収穫高は全国どこでも同じ大きさのますではかり、石高で示した取り組みのこと。
- 14 (刀狩)・・・百姓から、刀・弓・やり・鉄砲などの武器を取り上げたこと。
- 15 (兵農分離)・・・刀狩と検地によって、一揆を防止し、武士と百姓とを区別したこと。

語群

刀狩 鉄砲 マゼラン イエズス会 バスコ＝ダ＝ガマ 楽市・楽座令 織田信長
宗教改革 太閤検地 豊臣秀吉 フランシスコ＝ザビエル ルネサンス 兵農分離 安土桃山時代
コロンブス

《秀吉の海外政策》

- 16 (南蛮貿易)・・・ポルトガル人・スペイン人の人々と長崎県の平戸で貿易をした。この貿易の名前
- 17 (南蛮文化)・・・ポルトガルやスペイン人から鉄砲・火薬・時計・ガラス。中国からは生糸や絹織物などがもたらされた南蛮貿易による文化のこと。

《桃山文化》

- 18 (桃山文化)・・・安土桃山時代の豪華・雄大で活気にあふれる開放的な文化のこと。
- 19 (千利休)・・・茶の湯を大成させた人物。
- 20 (出雲阿国)・・・歌舞伎を始めた人物。
- 21 (三味線)・・・琉球から伝わった三線をもとにつくられた楽器のこと。

語群

三味線 南蛮文化 出雲阿国 千利休 桃山文化 南蛮貿易